



今年もどうぞよろしく申し上げます

年が明け、2026年が始まりました。始業式の日、子どもたちが元気に登校してくる姿から、私も元気をもらいました。

始業式の校長講話では、今年の箱根駅伝で優勝して話題になった青山学院大学の黒田朝日選手の話をしました。私はテレビで観戦をしていましたが、5区を走った黒田選手は、箱根の急な山道ですごい勢いで走り、前を走っている選手をどんどん抜いて1位となり、区間新記録を出して「シン山の神」と呼ばれました。

私は黒田選手がどうしてあれほど速く走れるのかな、普段はどんな生活をしているのかなと気になって少し調べてみました。すると黒田選手はインタビューなどに答える中で次のように話していました。

「特別なことをしてきたわけではありません」。

黒田選手が大切にしてきたことは、毎日の生活でした。

それは例えば、寝る時間を守って早寝早起きをすること。朝・昼・晩の食事をきちんと摂ること。走るだけでなく、学校の勉強も目標を持ってしっかりやること。

黒田選手は、毎日の基本的な生活習慣を整えながら、走ることで勉強のどちらかだけでなく、どちらも手を抜かず、毎日の生活を大切に積み重ねることで成長してきたのです。

続けていけば苦しい日や面倒だなと思う日もあったはずですが、それでも、当たり前のことを当たり前に続ける。その積み重ねが、あの記録的な走りにつながったのではないのでしょうか。

私はこのことは黒田選手だけの特別な話ではないと思いました。勉強、運動、習い事、趣味、学校生活・・・、どんなことでもかまいません。何か目標を達成するためには、1日1日、毎日の生活や時間を大切にして、自分にできることを一つひとつ丁寧に続けていくこと、積み重ねていくことがとても大切なのではないかと。そしてそのことが自分の成長につながるのではないかと。そんなことを思いました。

3学期は短いですが、次の学年につながる大切な学期です。何か急にすごいことをすることはありません。朝、起きてから学校に来て、寝るまでの毎日の生活を一つひとつ大切にすることから始めてみてほしいと思います。

概ねそのようなことを始業式で子どもたちに話しました。

私たち教職員も、保護者のみなさま、地域のみなさまのお力をお借りしながら、お子さん一人ひとりの1日1日を大切に、毎日子どもたちへの指導・支援にあたって参ります。

今年もどうぞよろしく申し上げます。

校長

気になる！〇〇依存

子どもたちの心は様々な物事の影響を受けながら、日々成長していきます。子どもたちに起きる変化には、望ましいものもあれば、気を付けたほうがよいものもあります。日常を振り返り、一度チェックしてみましょう。

(心づくり部)

チェックリスト：「〇〇」の中に、「タブレット」「ゲーム」「動画」など気になるワードを入れて考えてみましょう。

自分は、周りの人（家族・友だちなど）から、どちらに見えているでしょう

Q. 1 「〇〇」があるかないかで・・・

A：「〇〇」があると、楽しさがひとつ増え、日常が少し豊かになる。

B：「〇〇」がないと、イライラしたり無気力になったりする。

Q. 2 「〇〇をやめなさい」と伝えたら・・・

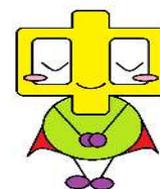
A：不機嫌になることなく、すぐにストップできる。

B：機嫌が悪くなり、怒ったり苛立ったり反発したりする。

Q. 3 あなたにとって〇〇よりも大切なものは？

1月・2月前半学校行事予定

1月	19	月	校内研究日2年（5校時）
	20	火	百人一首大会 1年ひるえび
	21	水	朝会 クラブ④ 1年むかしあそびの会 なわとびタイム
	22	木	書き初め展 読み聞かせ（3年）
	23	金	書き初め展 4年音楽鑑賞会（文化会館） なわとびタイム
	26	月	海西中学校新入生入学準備説明会（ピナレッジ） なわとびタイム
	27	火	B4日課 市内研究会のため
	28	水	新入学児童保護者説明会 おはなし会1・2年 クラブ⑤（3年見学） なわとびタイム
	29	木	校内研究日4年（5校時） 読み聞かせ（4年・ひまわり級）
	30	金	3年プログラミング学習
2月	2	月	3年音楽出前授業 なわとびタイム
	3	火	開校記念日（休日）
	4	水	クラブ⑥（最終）
	5	木	読み聞かせ（5年生） なわとびタイム
	6	金	1年プログラミング学習
	9	月	6年プログラミング学習 なわとびタイム
	10	火	海西中学校体験入学（6年）
	11	水	建国記念の日
	12	木	授業参観・懇談会（1・3・5年）・校内作品展 掃除あり日課 読み聞かせ（6年生）
	13	金	授業参観・懇談会（2・4・6・ひまわり級）・校内作品展



放課後の取り組み～ミニ研修～

本校では、子どもたち一人ひとりが安心して学び、自分らしさを大切にできる学校づくりを目指し、放課後の時間を活用して教職員研修を行っています。今回の学びづくりグループの研修では、スクールタクトの活用とインクルーシブ教育をテーマに、ミニ研修を実施しました。

【スクールタクト】

子どもたちの考えを共有したり、学びの過程を可視化したりすることで、より深い学習のつなげる活用方法を確認しました。授業の中で無理なく取り入れられる工夫についても意見を出し合いました。

【インクルーシブ教育】

様々な子どもたちが同じ学びの場で安心して過ごし、互いを認め合いながら学ぶことの大切さを改めて確認しました。

今後も教職員が学び合いながら、すべての子どもたちにとって学びやすい学校づくりを進めていきます。



【学びづくり部】